

高機能消防指令センター更新業務

企画競争 審査要領

鳥取県東部広域行政管理組合

## 1 趣旨

鳥取県東部広域行政管理組合が実施する「高機能消防指令センター更新業務」の企画競争における最優秀提案者の審査方法等について規定するものである。

## 2 選定委員会

高機能消防指令センターの更新整備を実施するにあたり、公平かつ適正に事業者選定を行うことを目的に、高機能消防指令センター更新業務事業者選定委員会（以下、「選定委員会」という。）を設ける。

- (1) 選定委員会の組織、所掌事項等は、別に定める「高機能消防指令センター更新業務事業者選定委員会設置要綱」による。
- (2) 選定委員会は、基準に基づいて、最終的に審査し、最優秀提案者と次点の提案者を選定する。

## 3 最優秀提案者の選定方法

- (1) 最優秀提案者の選定は、提案書等提出書類の審査結果及び提案者による発表の結果から行う。
- (2) 提案書の内容が、仕様書等の要求事項を満たしているか否かを判定し、これを満たしているものには、別紙1「提案書評価基準」に記載する各項目の配点内で、提案内容の評価に応じて「技術点」を与える。
- (3) 提案発表については、別紙2「提案発表評価基準」に記載する各項目の配点内で、内容に応じて評価する。
- (4) 上記により算出された、技術点、提案発表及び価格点の合計点数が最も高い者を最優秀提案者とする。
- (5) 合計点数が同じ者が2者以上あるときは、「技術点」の最も高い者を最優秀提案者とする。

## 4 採点

採点は、提案された企画の優秀性を評価する技術点、見積総額の低廉性を評価する価格点及び発表点の内容により採点した結果の合計点とする。

点数は、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までとする。

### (1) 採点の配分

採点の配分については、以下のとおりとする。

評価項目			配点
技術点	提案書	提案書の明瞭性	3
		体制、行程、業務実施に関する事項	6
		消防指令システムに関する事項	10
		消防支援システムに関する事項	6
		無線、通信、その他設備に関する事項	7
		情報セキュリティ・保守に関する事項	8
	仕様適合状況	15	
	追加提案	5	
提案発表	企画提案	21	
	運用・保守	6	
	地域貢献	6	
価格点	構築費用	8	
	保守費用	10	
	中間更新費用	8	
合計			119

(2) 技術点

評価基準は別紙1のとおりとする。

別紙1に定める配点の上限の範囲内で、提案内容の評価に応じて以下の目安に従い、評価点を与える。

採点の目安

評価	配点	判断基準
A	2点	優れている 仕様を上回る提案
B	1点	標準である 仕様を満たしている、若しくは適切な代替運用の提案
C	0.5点	劣っている 仕様を満たしていない、若しくは代替運用では不足がある提案
D	0点	必要項目の記載がない、もしくは記載はあるが不適切である

(3) 提案発表

選定委員会の委員を対象とした、本業務全体についての提案発表を実施することとし、評価基準は別紙2のとおりとする。

別紙2に定める評価基準に示す配点の上限の範囲内で、以下の目安で評価を行い、評価点を与える。

採点の目安

評価	配点	判断基準
A	2点	優れている 要求仕様を上回る提案
B	1点	標準である 要求仕様を満たしている、若しくは適切な代替運用の提案
C	0.5点	劣っている 要求仕様を満たしていない、若しくは代替運用では不足がある提案
D	0点	必要項目の記載がない、もしくは記載はあるが不適切である

#### (4) 価格点

価格点は、費用毎（構築費用、保守費用、中間更新費用）に提案価格に応じ、点数化するものとする。

点数化の方法については、参加者の中で最も低い価格（以下、「最低提案価格」という。）を満点とし、以下に示す方法による。

なお、算出にあたって、各費用は消費税及び地方消費税を除くこととし、点数は、小数点以下1桁までを有効とし、小数点以下2桁目で四捨五入する。

##### ア 構築費用

構築費用の価格点算出方法は、次のとおりとする。なお、提案価格が委託費上限額を超える場合は、無効とし、価格点に関する部分を評価対象外とする。

$$\left( 1 - \frac{\text{提案価格} - \text{最低提案価格}}{\text{提案上限額}} \right) \times \text{配点}$$

##### イ 保守費用

令和8年度は契約不適合責任期間とし、令和9年度から保守契約を締結する予定としている。

令和13年度末まで6年間総額の保守費用を示すこと。

価格点算出方法は次のとおりとする。

$$\left( 1 - \frac{\text{提案価格} - \text{最低提案価格}}{\text{提案価格}} \right) \times \text{配点}$$

##### ウ 中間更新費用

令和8年4月から令和19年3月まで（11年間）の間において、機器の交換等が必要となる場合の中間更新費用について、中間更新の時期と費用を示すこと。

2回以上行う必要がある場合には、それらの合計額とすること。

価格点算出方法は次のとおりとする。

$$\left( 1 - \frac{\text{提案価格} - \text{最低提案価格}}{\text{提案価格}} \right) \times \text{配点}$$

# 別紙 1 提案書評価基準

項目		審査基準	配点
1	提案書の 明瞭性	(1) 業務内容の理解	3
		(2) 安全性、品質管理、実施方針等の基本的考え方が示されているか	
		(3) 企画提案書の表現力	
		(4) 企画提案書等の提出物が、要領、仕様等に基づいて作成されているか	
2	体制、行程 業務実施	(1) 業務実績 実績調書から、提案者の実績や経験を評価	6
		(2) 実施体制 担当する技術者の実績、経験、資格等から評価	
		(3) 行程 スケジュールの具体性 リスク評価とその対策についての検討内容	
3	消防指令 システム	(1) 消防指令センターは視認性、動線、情報伝達に配慮したレイアウトであるか 整備並行運用に支障は無い 他設備を配慮した配置であるか	10
		(2) 指令台の操作性・視認性向上、職員の負担軽減について	
		(3) 地図検索装置等で使用する地図 災害場所特定のために通信員を支援する機能について	
		(4) 119事案の管理	
		(5) 入力ミスや誤操作防止のための具体策が示されているか	
		(6) 各サブシステムとの連携	
システムの 信頼性	(1) 機器の故障、通信網の障害、大規模災害等による輻輳、停電等への対策について具体的に示されているか	データの保存、データの移行手順、移行後の正確性の担保 システムのプログラム誤りへの検討、対策	
	システムの 拡張性		標準仕様に対応できているか、行政、消防業務を取り巻く環境変化に柔軟に対応できることが示されているか
4	消防支援 システム	(1) 入力画面構成の工夫、エラー防止機能等、使用者補助や効率向上の提案	6
		(2) 端末の動作環境、要求仕様の柔軟性、汎用性について評価	
		(3) 標準機能の範囲、カスタマイズの範囲とそのコスト 法令改正・調査項目変更への対応、独自帳票・データ分析等の汎用性	
		(4) 標準仕様、電子化、DX等に向けた先進的な提案	
5	無線、通信 その他設備	(1) 無線設備と指令センターの接続、連携	7
		(2) 通信網の構成、性能、信頼性や費用について	
		(3) 電話、駆けつけ通報、庁舎カメラ、放送設備、停電対策機器等の庁舎設備について	
		(4) グループウェア、業務メール、NAS等情報通信設備の移行	
		(5) 空調設備の改修方法や行程について	
6	情報セキュリティ	(1) 指令システム・ネットワーク全体のセキュリティ対策	8
		(2) 業務端末、車載端末、可搬型機器のセキュリティ対策 バージョン管理、エンドポイント防御等の具体的な手法	
		(3) 個人情報保護対策 ログ分析等インシデント対策	
7	仕様適合状況	(1) 職員の初期対応と保守事業者の協力体制 障害対応の管理手法	15
		(2) システムの動作状況、障害監視の機能 実施体制	
		(3) 24時間365日運用を維持する体制、担当者の技術力、実績、連携 保守拠点、交換部品等の管理	
8	追加提案	(1) 調達仕様書に記載した機能の実現性 代替提案の適合状況	5
		(2) DX推進、業務の効率化 ・指令システムの活用、既存設備との連携による効率化提案 経費削減対策 ・通信網の統合、機器の統廃合等による提案 ・端末（PC、タブレット、携帯電話等）、ソフトウェア（OS、オフィスソフト、セキュリティソフト等）、地図（住宅地図、GIS、複製利用権等）、消耗品（トナー、専用紙、予備部品等）等で、消防行政事務を行う上で、本業務に関連するが別に調達が必要になる物について、本業務と併せて調達することにより費用低減できる提案等	
		(3) 先進的機能の導入 ・AI、音声認識、クラウド、API等を活用した先進的機能の提案	
		(4) 自由提案 ・市町防災部局、住民に情報を連携・提供できる機能、行政基盤との情報連携機能、財政に資する提案、SDGsに資する取組・提案、地域の課題や特性に対する提案等	
9	提案発表	(1) 企画提案	21
		(2) 運用、保守	6
		(3) 地域貢献	6
10	価格点	(1) 構築費用	8
		(2) 保守費用	10
		(3) 中間更新費用	8
合計			119

## 別紙 2 提案発表評価基準

項目		審査基準	配点
1	提案発表	(1) 業務内容の理解	10
		(2) 安全性、品質管理、実施方針等の基本的考え方	
		(3) 企画提案書の表現力	
		(4) 発表の明瞭さ	
		(5) 提案内容の理解、正確性	
2	行程	行程管理とリスク対策	2
3	消防指令システム	(1) 消防指令センターのレイアウト 整備中の運用に支障は無いか 他設備を配慮した配置であるか	10
		(2) 指令台の機能、操作性、地図検索機能	
		(3) 119事案の管理、指令管制支援機能	
	システムの信頼性	(1) 大規模災害、障害対策について具体的に示されているか	
		(2) データの保存・正確性が示されているか	
システムの拡張性	行政、消防業務を取り巻く環境変化に柔軟に対応できることが示されているか		
4	消防支援システム	(1) 操作性	5
		(2) 動作環境	
		(3) 法令改正・調査項目変更への対応、独自帳票・データ分析等の汎用性	
5	無線、通信 その他設備	(1) 無線と指令システムの接続、連携について示されているか	5
		(2) 通信設備、署所指令設備、業務システムグループウェア、業務メール、NAS等情報通信設備について	
		(3) 空調設備の改修方法や行程について	
6	追加提案	(1) DX推進、業務の効率化	3
		(2) 経費削減対策	
		(3) 先進的機能の導入	
7	運用 保守	(1) 情報セキュリティ、個人情報保護	10
		(2) 協力・監視体制	
		(3) 障害管理、保守体制	
8	地域貢献	(1) 実施体制	10
		(2) 自由提案	
		(3) その他	
合計			55